



# 台湾集集大地震 與颱風展

2026

6.4

[Thu]

6.30

[Tue]

神戸学院大学図書館

SeaScape

〒650-8586 神戸市中央区港島1-1-3

神戸学院大学現代社会学部社会防災学科水本ゼミ（2年生）企画

神戸学院大学ポニーアイ図書館 展示会通信 第38号

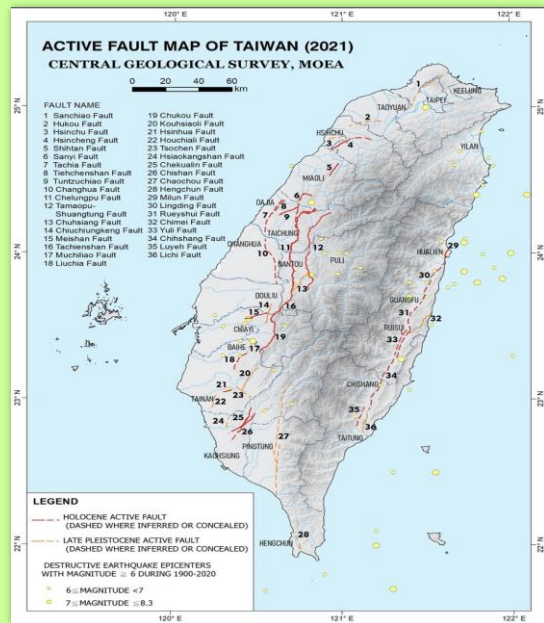
# 台湾集集大地震與颱風展

- 1999年、台湾のほぼ中央に位置する中山間地域にある水沙連と内加道は風光明媚な日月潭を抱え、人口約8万人の埔里鎮を中心とする南投県。
- この地域を震源とする大地震「集集大地震」が発生し、地域は大きな被害を受けました。
- 地域の復興と高齢化に直面するコミュニティを支援するため、新故郷文教基金会は地域に絵画教室を開設しました。
- 本展示では、台湾で大きな被害を出した集集大地震とモラコット台風の概要の展示を通して、地震と風水害被害の普及啓発をおこないます。

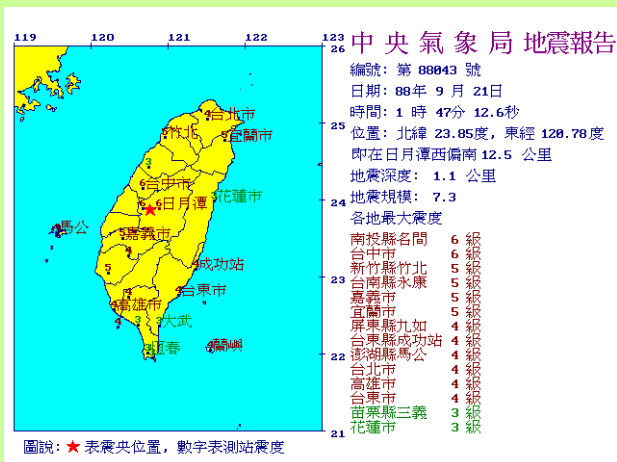
## 台湾の活断層

台湾は、フィリピン海プレートとユーラシアプレートの衝突によって形成されたと考えられる3000mの高峰が連なる中央山脈を初め、躍動的な地質地形である。

また、多くの活断層が確認されている。



## 九二一集集大地震



台湾中部で1999年9月21日午前1時47分ごろ（現地時間）にM7.6の大地震が起こり、建物約3万棟が倒壊した。震源地は南投県集集鎮付近ででマグニチュードは7.6。地震による被害は震源に近い南投県や周辺の台中市などの台湾中部に集中した。震央から約150km離れた台北市でも12階建てのビルなどが倒壊した。死者・行方不明者は4800人を超えた。

# 九二一集集大地震

- 家屋全・半壊約15,000戸にのぼり、建物・道路等の被害が甚大であった。
- 光復国中という中学校は、校内の敷地内に大地震の原因となった車籠埔断層が横切っており、地震に伴って断層が2.5mの高さで隆起したため、校舎が倒壊した。
- 中学校の敷地が博物館として整備されたほか、隆起した断層が約340mの長さで保存されている。現在、地震そのメカニズムの解説、過去に台湾で発生した地震、活断層のある場所などについて展示されている。



- 台湾の電力を支えていた変電所が震源の近くであり、送電網が遮断された。それにより大規模な停電となり、ハイテク産業が集まる新竹科学学園区も被害を受けて甚大な経済損失となった。
- 交通インフラも被害を受け、活断層により垂直方向に数メートルずれたことで橋梁の崩落や主要道路の路面が隆起や亀裂により寸断されるなどの被害を受けた。
- 鉄道なども集集線などのローカル線などが線路の歪み、トンネルの亀裂などの被害を受けた。
- またダム施設が決壊し、水の供給などに被害をもたらした。

# 九二一集集大地震の被災地と神戸

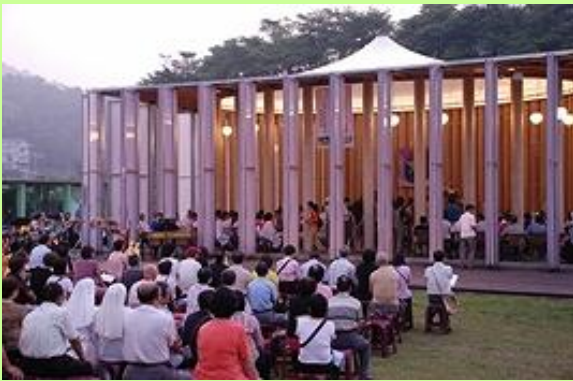


## 紙教堂（ペーパードーム）

台湾と日本との地震の被災地同士の交流は盛んに行われてきた。

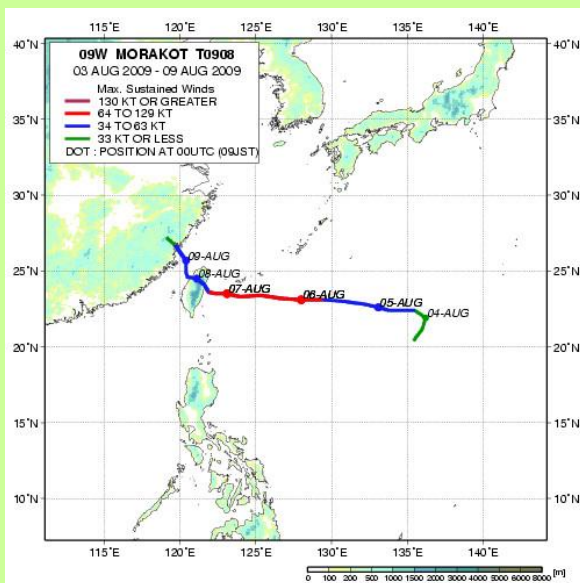
ペーパードームは、直径33センチ、高さ5メートルの厚紙の柱58本がテント製の屋根を支える。

ペーパードームは、阪神・淡路大震災で焼失した神戸市長田区のカトリックたかとり教会に建てられ、野田北部地区の住民集会やイベント会場に使われてきた。



教会の再建に伴い、2005年6月に解体された。廃棄される可能性もあったが、台湾から野田北部を訪れた交流団のメンバーが受け入れを表明。2006年11月、九二一集集大地震の被災地、南投県桃米で、神戸から移設される紙の建築物「ペーパードームたかとり」の起工式が執り行われた。

# モーラコット台風



近年、台湾における大規模な被害を受けた地震以外の自然災害は、2009年の台風モーラコットがある。

台風モーラコット（MORAKOT：莫拉克、日本では、台風8号）は2009年8月7日から11日にかけて、台湾に接近・上陸し、総降水量約2,400～3,000mmと台湾の年平均降水量に匹敵する予想外の降雨をもたらした。

この台風は、台湾中・南部を中心に、土石流、大規模崩壊、地すべり、洪水氾濫等の大災害を発生させた。